

マニュアルの記入要領について(外壁塗装)





● 化学物質管理者が記載（前日までに）

- 1 マニュアルに貴社名、元請名、作業所名、作業内容、作業期間を記載してください。

使用する製品の SDS を確認します。製品のラベルと SDS の項目番号 1 に記載されている製品名が一致していることを確認します。

マニュアルの製品名とメーカーの欄を記入します。

- 2 SDS の項目番号 2 の危険有害性の要約 GHS 分類、健康に対する有害性をチェックします。ラベル要素の絵表示のシンボルを確認します。

(腐食性 、どくろ 、感嘆符 、健康有害性 

- 3 SDS の項目番号 3 の組成、成分情報を確認します。含まれている成分が、マニュアルの裏表紙に記載されている場合は、チェック欄にチェックを入れてください。

チェックを入れた物質について、㊦、㊧、㊨の対象となっているか確認してください。

発がん物質の有無を確認し、発がん物質の欄の有無のいずれかに○を付け、有の場合には、化学物質名を記載します。裏表紙の化学物質一覧表の発がん性の欄に「(○)」の付いた物質は、作業記録（作業マニュアル）、健康診断の保存期間が 30 年となります。

● 保護具着用管理責任者が記載（化学物質管理者が記載内容を確認後、作業前日までに）

- 4 作業当日の予定作業に従事する作業内容欄に㊦㊧-1㊧-2㊨㊩で記入してください。

- 5 作業内容・換気状態に応じた呼吸用保護具等（以下「保護具等」という。）を選択し、作業当日に着用する保護具等を確認し、保護具等の欄に選択した保護具名を記載してください。作業内容・換気状態に応じた保護具等が合致しているか確認してください。

● 保護具着用管理責任者または、職長が記載（作業当日）

- 6 従事する作業内容（㊦㊧-1㊧-2㊨㊩）、実際に使用する保護具等を記載してください。保護具着用管理責任者または、職長は、上段の欄に記載されているものと合致しているか確認してください。

● 各作業員がサイン（作業開始前）

- 7 作業内容、保護具等の確認後、各作業員が全員サインをしてください。

● 職長が記載（作業終了時）

- 8 作業終了時に、異常の記録欄に異常があった場合はその内容を、ない場合には、無と記載してください。

● 元請が記載（作業終了後）

- 9 元請は、異常の記録欄に記載されていることを確認し、元請の確認欄にサインしてください。

* ㊦有機溶剤中毒予防規則適用物質、㊧：特定化学物質障害予防規則適用物質、㊨：皮膚等障害化学物質(労働安全衛生規則第 594 条の 2（令和 6 年 4 月 1 日施行）及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質リストに記載されている物質

GHS による絵表示

| 危険有害性絵表示 | シンボル | 危険・有害性の例 |
|---|-------|--|
|  | 爆弾の爆発 | 不安定爆発物 火災又は飛散危険性 熱すると爆発のおそれ |
|  | 炎 | 引火性液体；可燃性液体 熱すると火災のおそれ 自然発火；自己発熱・発火のおそれ 水に触れると可燃性ガスを発生 |
|  | 円上の炎 | 火炎助長 酸化性物質 強酸化性物質 |
|  | ガスボンベ | 可燃性の高いガス；爆発的に反応するおそれ 高圧ガス 凍傷又は傷害のおそれ |
|  | 腐食性 | 金属腐食のおそれ 皮膚の薬傷および眼の損傷 |
|  | どくろ | 飲み込むと生命に危険 飲み込むと有毒 皮膚に接触すると生命に危険 皮膚に接触すると有害 吸入すると生命に危険 吸入すると有毒 |
|  | 感嘆符 | 飲み込むと有毒；皮膚に接触すると有害 吸入すると有害のおそれ 皮膚刺激；眼刺激 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ オゾン層の破壊により健康および環境に有害 |
|  | 健康有害性 | 吸入するとアレルギー・喘息・呼吸困難を起こすおそれ 遺伝性疾患のおそれ 生殖能または胎児への悪影響のおそれ 反復曝露による臓器の傷害 |
|  | 環境 | 長期継続的影響により水生生物に毒性 |